



業界最大記録容量 16 TB の HDD に当社の 3.5 インチハードディスクが採用

昭和電工株式会社（社長：森川 宏平）が生産・販売するハードディスクが、3.5 インチサイズとして業界最大の記録容量^{（注1）}である、16TB ハードディスクドライブ（以下、HDD）に採用されました。

本製品は、東芝デバイス&ストレージ株式会社の CMR 方式^{（注2）}で業界最大記録容量である 16 TB を実現したニアライン向け HDD「MG08」に採用されたもので、当社が世界に先駆けて 2005 年に生産・販売を開始した垂直磁気記録方式の 3.5 インチハードディスクでは第 9 世代^{（注3）}となる製品です。

クラウドサービスの普及や動画コンテンツの増加などにより、データを保管するデータセンターではより大容量の HDD が求められています。当社は、HDD の記録容量を左右するキーパーツであるメディアにおいて、これまで世界最高クラスの製品をいち早く市場に投入してまいりました。当社は世界最大のメディア専門メーカーとして、今後も“ベスト・イン・クラス”をモットーに、HDD の高容量化に貢献してまいります。

以上

（注1） 2019 年 1 月 8 日時点

（注2） CMR 方式：従来型磁気記録方式（Conventional Magnetic Recording）のことで、垂直磁気記録方式（PMR：Perpendicular Magnetic Recording）のうち、瓦書き記録方式（SMR：Shingled Magnetic Recording）を用いない従来の記録方式を指す。ランダムアクセス性に優れている。

（注3） 当社の垂直磁気記録方式ハードディスクは、記録容量に応じて次のとおり区分しています。

	2.5 インチ	3.5 インチ
第 1 世代	80GB	160 GB
第 2 世代	120 GB	250 GB
第 3 世代	160 GB	334 GB
第 4 世代	250 GB	500 GB
第 5 世代	334 GB	750 GB
第 6 世代	500 GB	1TB
第 7 世代	670 GB	1.1~1.3TB
第 8 世代	750 GB	1.3~1.5TB
第 9 世代	1TB	<u>1.5~1.8TB</u>

1TB（テラバイト）＝1000GB（ギガバイト）／枚